レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日			
登録診療科	婦人科	申請医師		化学療法委員会承認年月	平成　　年　　月
レジメン名	CDDP+RT(アプレピタントカプセル)(子宮・卵巣がん)				
疾患名	子宮がん・卵巣がん	適応の備考	3コース施行してから評価し、効果があれば6コース施行する。		
適応分類			放射線照射と同時に開始する。腔内照射時は併用しない。		
1コース日数	7　日間	総コース数	6　コース	催吐性リスク	高度
抗がん剤投与量・投与日	シスプラチン30mg/㎡　day1				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7
1	主ルート	ソリューゲンF500mL	2 本 / body	4 時間	●						
	点滴静注		/								
			/								
2	主ルート	アロキシ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg	1 本 / body		●						
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●						
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●						
3	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●						
	点滴静注	シスプラチン注	30 mg / ㎡	2 時間	●						
			/								
	シスプラチンと同量の生食を抜いて混注する										
4	主ルート	ソリューゲンF500mL	2 本 / body	4 時間	●						
	点滴静注		/								
			/								
5		アプレピタントカプセル	125 mg / body		●						
	経口投与		/								
			/								
	抗がん剤の投与1時間～1時間30分前に服用										
6		アプレピタントカプセル	80 mg / body			●	●				
	経口投与		/								
			/								
	分1午前中に服用										
7		デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●	●		
	経口投与		/								
			/								
	分2朝昼食後										

【投与上の注意】

・day2～5のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。

・day5のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。

ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ：各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ：原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ：抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。

シスプラチン：希釈は生食のみ。

シスプラチン：腎毒性軽減のためhydrationが必要。

シスプラチン：適宜利尿剤を投与